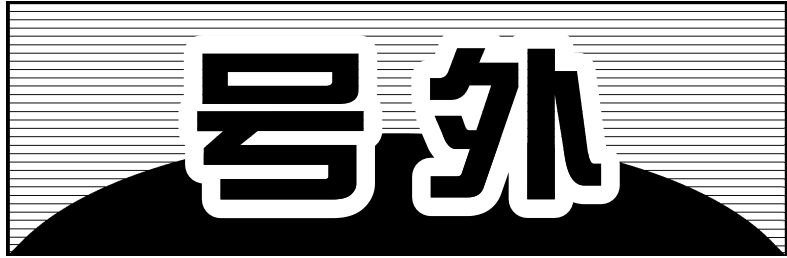


ホームページを
リニューアルしました

<http://kenro-chuo.jp>



中央支部建労くん



発行所

三重県建設労働組合

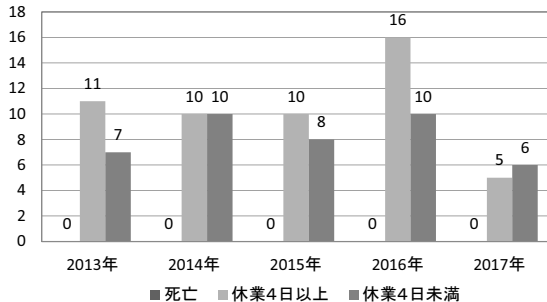
中央支部

津市久居緑が丘町一丁目5番地の4

電話 (059) 252-2068

印刷所 三宅印刷(株)

【資料1】中央支部年別労働災害件数



中央支部での今年1月から7月末までの組合員による労働事故件数は11件(資料1)に上り、年間で20件を超えることが予想されます。

中央支部組合員による
労働事故件数が20件を超える予想に！

厚生労働省が
フルハーネス型義務化へ

建設業の労働災害発生率は労働災害全体の約2割(資料2)ですが、墜落・転落、建設機械への挟まれ、土砂崩壊など、死亡に至るケースや障害が残ったりする重篤な災害も多くあります。特に墜落・転落に関しては、厚生省が高所作業の安全帯を原則フルハーネス型への改正を目指し、規制のあり方について6月中旬に報告書を策定、公表しました。これは、国際規格標準(ISO)が胴ベルト型ではなく、身体を複数箇所支持する構造のフルハーネス型が採用されていることが背景にあります。高さ2m以上の場所で作業を行う場合には、作業床を設

け、墜落自体を防止することが原則である。こうした措置が困難なときは、労働者に安全帯を使用させる等、代替の墜落防止措置も認められている。しかし、胴ベルト型は着用者の身体を胴部だけで支持する構造であるため、宙づりになった際、胸部・腹部への圧迫による死亡災害が確認されており、10年間(平成18(27年)で事例が6件あった。このような状況下、厚生省による検討会が行われ、新たな規制の基本的な考え方が発表された。

・国際基準に適合し胴ベルト型ではなく、フルハーネス型を原則とするべき

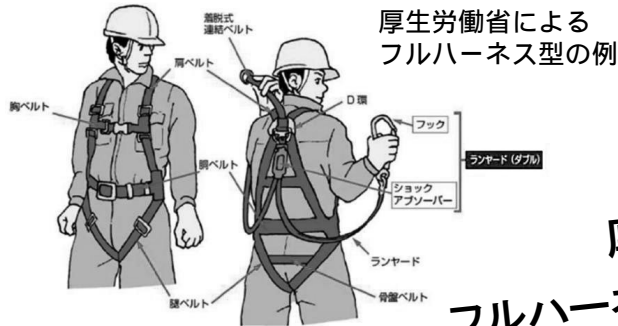
・一方で、フルハーネス型は胴ベルト型と比較して一定程度落下距離が長くなるため、一定の条件に適合する胴ベルト型安全帯の使用を認めるべき

今後は作業性を確保するために、空調服や絶縁用保護具が着用可能なフルハーネス型の普及にも努める。改正には一定の期間を設け、平成30年度初頭をめどに告示し適用までの間半年程度、改正省令には規格適用後、数年の周知期間を設けるべきとしている。

【資料2】業種別・事故の型別 死傷災害発生状況

	H24	H25	H26	H27	H28
全産業	119,576	118,157	119,535	116,311	117,910
製造業	28,291	27,077	27,452	26,391	26,454
建設業	17,073	17,189	17,184	15,584	15,058
陸上貨物運送事業	13,834	14,190	14,210	13,885	13,977
小売業	13,099	12,808	13,365	13,030	13,444
社会福祉施設	6,480	6,831	7,224	7,597	8,281
飲食店	4,375	4,416	4,477	4,687	4,791
転倒	25,974	25,878	26,982	25,949	27,152
墜落・転落	20,275	20,182	20,551	19,906	20,094
動作の反動・無理な動作	14,191	13,914	14,191	14,420	15,081
はさまれ・巻き込まれ	15,802	15,276	15,238	14,513	14,136
交通事故(道路)	8,352	8,312	8,266	8,013	8,125
切れ・こすれ	9,258	9,037	8,704	8,423	8,117

出展：労働者死傷病報告



厚生労働省によるフルハーネス型の例

月々900円で!? 入院・ケガの補償!

みえ共済

すこやか共済

共済金はこんな時にお支払いします		
作業中に足場から転落し、右足の骨折と全身を打撲した。●右足骨折と全身打撲により40日間入院し、退院後10日間通院した。		
6歳～64歳の場合	65歳～79歳の場合	
●入院共済金…4,000円×40日間＝160,000円	●入院共済金…2,000円×40日間＝80,000円	
●通院共済金…2,000円×10日間＝20,000円	●通院共済金…1,000円×10日間＝10,000円	
●長期入院一時金…100,000円	●長期入院一時金…100,000円	
●退院祝金…20,000円	●退院祝金…20,000円	
合計 300,000円をお支払いいたします。	合計 210,000円をお支払いいたします。	
保障内容 ※年齢により保障が変わります。※疾病による保障はございません。		
	6歳～64歳	65歳～79歳
傷害死亡・高度障害(事故の日から180日以内)	1,000,000円	1,000,000円
後遺障害(事故の日から180日以内)	500,000円～20,000円	500,000円～20,000円
傷害による入院(事故の日から1年以内120日間後)	日額 4,000円	日額 2,000円
傷害による通院(事故の日から1年以内90日間後)	日額 2,000円	日額 1,000円
長期入院一時金(継続して30日以上入院)	100,000円	100,000円
退院祝金(5日以上継続入院後、退院)	20,000円	20,000円

お問い合わせは ☎059-252-2068 三重建労中央支部まで

睡眠不足、前日の飲酒、発熱等がないか、また管理者の方は労働者の状態を把握しておくことも重要です。それぞれの現場や環境に応じて、予防策をお願いいたします。

⑤自分の健康状態を把握する。

三重労働局によると、平成24年から県下における職場で発生した熱中症による死亡事故は6件、その内建設業に関するものが2件発生しています。これは数多くある業種の中から建設業への警鐘でもあります。昔に比べ外気温は上がり、熱中症が発生しやすい環境になってきています。

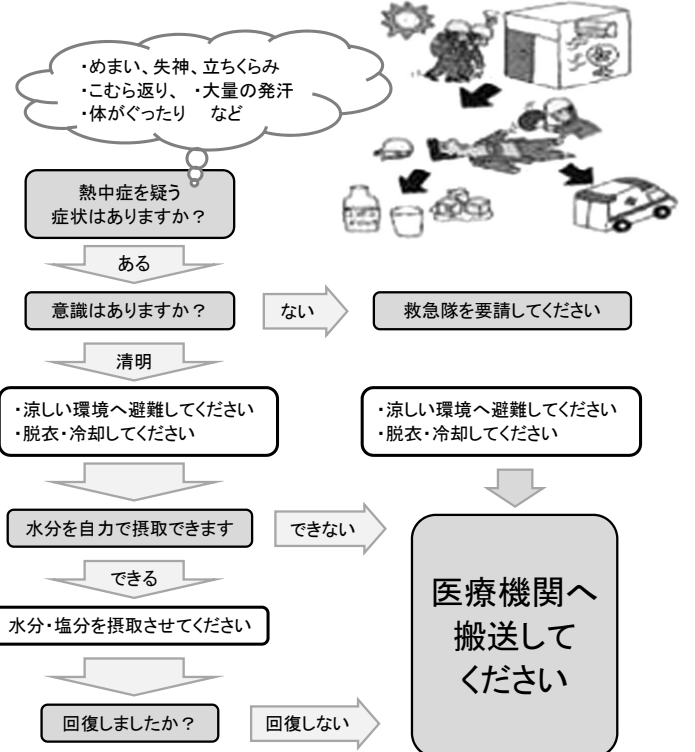
こうした中、我々ができる予防方法とはどのようなものがあるか。熱中症とは高温多湿な環境下において、体内の調整機能が破たんするなどして発症する障害の総称で、重症化すると命を奪われるまたは、重大な障害が残る場合があります。

- 熱中症を予防するために
- ①一人作業は絶対にやめ、休憩時間を長めに設定する。
 - ②症状に関わらずこまめに水分・塩分の補給をしましょう。休憩場所に氷、冷たいおしぼり、スポーツドリンクなどを準備しておくとうまい。
 - ③熱(太陽)へのばく露時間を徐々に伸ばし、身体を慣れさせる。
 - ④通気性のよい服装・帽子を着用する。
 - ⑤自分の健康状態を把握する。

熱中症が命を奪う 熱中症も労災事故です

三重労働局による熱中症の救急処置

熱中症は、早期の処置が大切です。下記のとおり行いましょう。また、熱中症と思われる労働者を決して一人で放置しないでください。症状が悪化したことに気づかず、手遅れになった事例が多くあります。

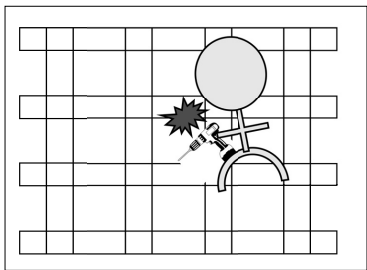


2017

組合員による労災事故事例

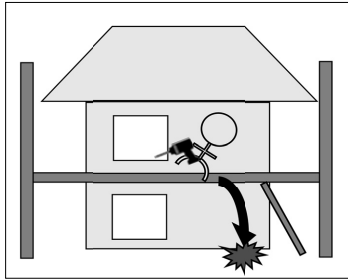
- ◆発生：1月 午前9時頃
- ◆形態：一人親方
- ◆職種：大工
- ◆原因：動作の反動・無理な動作
- ◆症状：右手小指基節骨折
- ◆休業：18日間
- ◆災害内容

松阪市内の個人宅新築工事において、ドリルを持ち床の下地に穴あけ作業を行っていた際、ドリルの刃が材料に噛み、ドリル本体が回転し、持ち手小指と本体が絡まった。しばらくして、右手小指が赤く腫れ上がり、すぐに病院へ向かった。



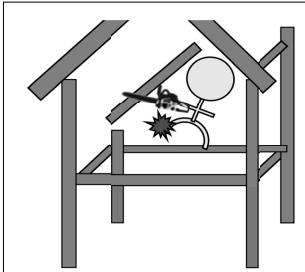
- ◆発生：1月 午後1時半頃
- ◆形態：一人親方
- ◆職種：大工
- ◆原因：転落
- ◆症状：左肋骨骨折
- ◆休業：3週間
- ◆災害内容

名古屋市内の個人宅にてサッシの取付工事を行っていた際、足元が滑り高さ2mの足場から転落した。その際、足場の単管で左脇腹を強打し5分ほど安静にしていたが、痛みが引かなかったため、病院で診察を受けた。



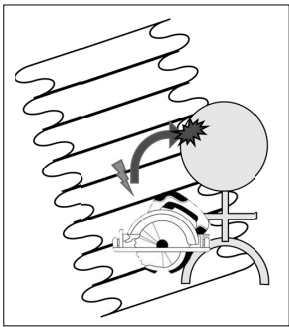
- ◆発生：2月 午後3時頃
- ◆形態：事業主
- ◆職種：解体工
- ◆原因：転落
- ◆症状：右下腿挫創
- ◆休業：19日間
- ◆災害内容

鈴鹿市内の個人宅解体工事において、家屋の2階部壁倒し作業の際、柱を倒すため電動のこぎりで切り込みを入れていたところ、切り込みが入り過ぎたため、突然柱が倒れた。その際、よけきれず右足ふくらはぎに柱の一部が倒れてきた。その後、すぐに救急車で搬送された。



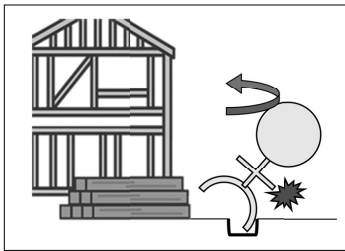
- ◆発生：2月 午後3時頃
- ◆形態：一人親方
- ◆職種：建築板金
- ◆原因：切れ・こすれ
- ◆症状：左目眼球裂傷
- ◆休業：休業無し
- ◆災害内容

大阪市内の個人宅にて屋根瓦の葺き替え作業中、スレート波板を丸鋸で切断中に、波板の破片が左目眼球に入った。その際、手でこすり取ろうとしたが、眼球に破片が刺さり、目が充血した。その後、仕事を終えてから自宅近くの掛かり付けの病院で診察を受けた。



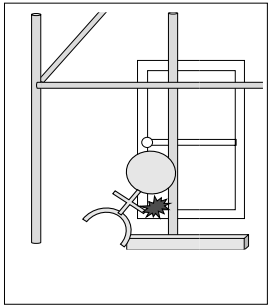
- ◆発生：3月 午前10時頃
- ◆形態：一人親方
- ◆職種：外装工
- ◆原因：転倒
- ◆症状：鎖骨骨折
- ◆休業：現在継続中
- ◆災害内容

桑名市内の個人宅新築現場において、敷地内を移動していた際、後ろを振り向いた瞬間前方にあった排水用の浅い溝につまずき後方へ転倒した。その際、鎖骨を強打し痛みが強かったため、近くの病院を受診した。



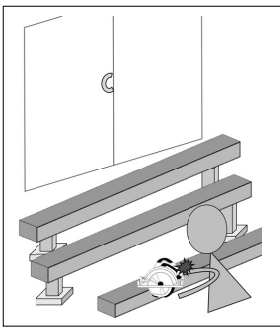
- ◆発生：4月 午後1時半頃
- ◆形態：一人親方
- ◆職種：大工
- ◆原因：転倒
- ◆症状：右前腕骨折
- ◆休業：現在継続中
- ◆災害内容

亀山市内の個人宅改築工事において、屋根瓦の廃材処理を玄関先で行っていた際、段差に躓き転倒した。その際、建物に組まれていた足場の単管に右前腕部を強打した。翌日になっても痛みがひどかった為、土日を跨ぎ月曜日に最寄りの病院を受診した。



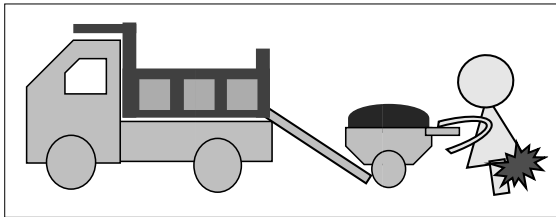
- ◆発生：6月 午前11時頃
- ◆形態：一人親方
- ◆職種：外柵工
- ◆原因：切れ・こすれ
- ◆症状：右前腕裂創
- ◆休業：現在継続中
- ◆災害内容

名張市内の個人宅エクステリア工事において、ウッドデッキの施工工事のため、アルミ製の大引を切断中、サンダーの刃がアルミに噛み、サンダーが反転し右手首に刃が接触し裂創した。出血がひどかったため、すぐに救急車で最寄りの病院へ搬送され、緊急手術が行われた。



- ◆発生：6月 午後4時半頃
- ◆形態：一人親方
- ◆職種：配管工
- ◆原因：無理な動作
- ◆症状：左ふくらはぎ肉離れ
- ◆休業：現在継続中
- ◆災害内容

津市内の公共下水工事中、一輪車で残土（約40kg）をダンプカーの荷台へ運んでいた際、約90cmの段差に渡した板の上へ登る際、足を踏ん張り左足ふくらはぎと左脇腹から上腕にかけて痛みが走った。翌日になっても痛みがあったことから、病院を受診した。



リスクアセスメント実施記録表

リスクアセスメント 工事名	実施日	実施者
作業名	危険有害要因	予測される災害
リスク評価	リスク低減対策	リスク低減効果

作成：三重県建設労働組合中央支部 社保・労働安全対策部

工事現場 自主安全パトロール点検表

No	点検項目	判定	改善点
1	服装は正しいか	A・B・C	
2	ヘルメットは正しく着用されているか	A・B・C	
3	安全帯は正しく着用されているか	A・B・C	
4	作業開始前の安全確認	A・B・C	
5	電動工具等の安全カバーの状況	A・B・C	
6	火気取扱いの状況	A・B・C	
7	作業に必要な資格等の取得状況	A・B・C	
8	作業主任者等の資格取得者の表示	A・B・C	
9	機械等の安全点検状況	A・B・C	
10	建築基準法の表示	A・B・C	
11	労働災害防止法の表示	A・B・C	
12	労働災害防止法の表示状況	A・B・C	
13	電気工事の配線状況	A・B・C	
14	架空電線の保護状況	A・B・C	

三重建労中央支部HP
<http://kenro-chuo.jp>



活用
リスクアセスメントとは、労働災害や事故が起こる可能性と事前に危険性・有害性を洗い出し、これを除去・軽減させる方法です。
点検シートは一部抜粋しております。全項目はホームページへ。
三重建労中央支部HPからダウンロードできます。是非ご活用ください。

リスクアセスメント
点検シートを
お試しください